

# やっぱり、新潟が**いい**!!

# U-TURN

## 新潟Uターン情報誌

NIIGATA U-TURN INFORMATION  
2010 vol.1

**世界が注目!**  
**新潟のBtoB**

### 就活応援ツール 徹底活用術

「見た」と「調べた」では全く違う!  
就職情報サイトを深く読む。

**情報収集編**

悩みながらの就活より、  
悩みを解決しながらの就活!

**相談編**

先輩からのアドバイス! **がんばれ後輩**

働くことの目的 ~フレッシュマンの意識調査~



発行: 新潟県産業労働観光部労政雇用課 〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1 電話 025-280-5270 (直通)  
新潟地域振興局企画振興部 025-231-8171 長岡地域振興局企画振興部 0258-38-2546 上越地域振興局企画振興部 025-526-9431

お話を伺ったのは



TDKラムダ株式会社

気がつくとき世界のあちこちで

“地味カッコイイ”

TDKラムダの製品が

私たちの毎日を支えています。



【会社概要】

電子機器の心臓部と言われる「スイッチング電源」の開発・製造・販売・保守メンテナンスを行い、日本をはじめ、世界5極体制で事業展開しているパワーエレクトロニクス企業

<http://www.tdk-lambda.co.jp/>

【職種紹介】

- エンジニア職:スイッチング電源の新製品開発設計業務(回路・機構)、評価電力変換装置等のネットワーク制御やソフトウェア開発、マイコンやDSPによるデジタル制御設計
- 品質保証職:自社開発製品の品質保証、環境対応及び修理保守サービス
- 生産管理職:国内外の生産拠点の生産管理全般及び部材調達業務
- 営業職 :大手メーカーへの提案型ルート営業及び新規顧客開拓

# 世界が注目!

「B to B」と「B to C」—あまり馴染みのない言葉ですが何の意味か知っていますか?

「B」はBusiness(企業)、「C」はConsumer(一般消費者)の略。

「B to B」(Business to Business)は企業間取引を意味するのに対し、「B to C」(Business to Consumer)は企業から一般消費者へ商品やサービスを提供する取引を意味しています。

「B to C」の企業は商品やサービスを通してのイメージや馴染みがあり、「B to B」の企業は一般消費者の目にふれる機会が少ない。しかし、「B to B」の企業には「B to B」ならではの实力や魅力が実はたくさんあります。今回は、長岡市のTDKラムダ株式会社の採用担当者の方から、知られざる「B to B」の魅力を知りました。

## スイッチング電源業界の パイオニア

電源とは、発電所から送られてくる電力を電気製品の中で必要な出力電力に変換させる電力変換器のことで、まさに社会の「心臓」のような装置のこと。TDKラムダは、その電源専門メーカーであり、特に産業機器向け電源市場において圧倒的なシェアを誇る世界No.1カンパニーです。社会で目立つ存在ではありませんが、すべての電子機器に「命」を吹き込む仕事で、社会を縁の下からしっかりと支えているのです。

## 学生が抱くB to Bのイメージは 「得体の知れない企業」

「B to B」の企業に対する学生の印象は、「聞いたこともないしTVCMでも見かけない、あるいは見かけても印象に残らない、見過ごす」「何をやっている会社なのか分からない」といったものです。「華もないし、地味だし、よく分からない」など、どうしてもイメージだけが先行してしまい、「この会社大丈夫なの?」と不安を感じているようです。

## 聞いたこともない企業なのに 技術・シェアが世界レベル

同企業説明会などで、当社のブースに訪れる学生は、TDKラムダが何をやっている会社なのか分からない学生がほとんどです。むしろ「たまたま空いていたから…」といった理由で話を聞きにきます。当社がどんな製品を作っているのか、その製品がなぜ必要なのか、社会インフラを支えるための重要な部品として、どのように役立っているのか、といったことを説明すると、たいていの学生は、「すべての電子機器に必要な部品、いわゆる「心臓部」がある」ということに驚きます。さらに「聞いたこともない企業なのに技術・シェアが世界レベル」ということでも驚きます。でも、すごく興味深く話を聞いてくれるわりには、その場ではなかなか質問は出ません。「初めて聞くことばかりで興味はわいたけど何を聞いていいのかわからない。」というのが本音のようです。しかし、その後もリピーターとなって何度も当社のブースに来てくれる学生はたくさんいます。聞けば聞くほど興味がわいてきて、「もっと知りたい」と思っているようです。

## 「大企業=安定」ではない

長引く不況のせいか、最近の学生は「安定志向」を望む傾向が強く見られます。ただ、どういった企業が安定しているのか、勘違いしている学生も多いようです。資本金や従業員数、知名度などに注目して「大企業=安定」と思い込んでしまっているように感じます。もちろん、大企業で安定している企業もたくさんあります。しかし、企業が存続し続ける。つまり安定しているということは、その企業の製品やサービスがこの先も必要とされるものであり、ユーザーが存在し続けるということです。「B to B」企業の中には社名が前面には出なくても社会インフラを支えていくために必要不可欠な製品を作り出している企業がたくさんある。ここがポイントなのです。

新潟県内にはこうした「B to B」企業がたくさんあり、実は多くの学生が注目する「B to C」企業を支え、社会インフラを支え、その延長線には未来を支えるという役割を担っています。そして、それらの企業群の多くが世界トップレベルの技術力やシェアを誇っています。

## B to Bの探し方

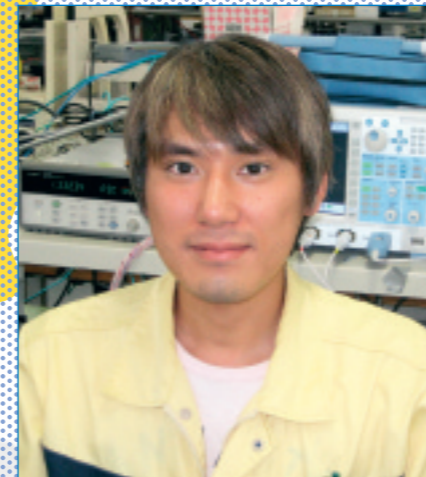
優れた技術を持つ「B to B」企業はたくさんあり、馴染みの薄い企業も多いので最初は少し戸惑うかもしれませんが、探す方法はいくつもあります。例えば、「メーカー」というカテゴリを中心に調べてみる。メーカーの中にも様々な業種があるので、そこから更に絞り込んでいくという方法。あるいは、「B to C」から調べたとしても、その企業の取引先にはどんな企業があるのか調べてみるのもいいかもしれません。その他にも、「この企業は何をすることによってお客様(ユーザー)を喜ばせているのだろうか」といった視点で企業研究をしてみると、「B to B」企業の本質が見えてくると思います。「聞いたことのない社名」「聞いたことのない製品」を調べていくことで、いろんな「B to B」企業が見えてきますし、就職活動を進める上で重要な企業研究の方法も知らずと身につけてくると思います。大事なはその企業について、どこまで深く追求できるかということです。

# 新潟のB to B

HOW TO BtoB

## 先輩からのアドバイス

技術統括部特注電源開発部設計2グループ  
鈴木 拓也さん



私は入社して8年になります。入社前は金沢の大学に通ってました。当社のことは、就職活動中に友人から見せてもらったパンフレットで知ったのですが、「新潟にもこんなグローバルな企業があったんだ。」と驚くと同時に、「何をやっている会社なんだろう」と悩んだことを今でも覚えています。

もともと「地元新潟で縁の下のような仕事をしたい」と考えており、見せてもらったパンフレットや、インターネットで仕事の内容を確認したところ、私の好きな分野であったため、この会社で働きたいと即断しました。また地元には昔からの友人がいますので、どんな小さな悩みでも気兼ねなく相談できる、というのもUターン就職をした理由のひとつでした。

当社のような「B to B」企業は、CMに出るような企業とは違い、製品がみなさんの目に触れることはほとんどないと思います。ですが、産業機器、医療機器、通信機器、鉄道関連機器、アミューズメント機器など、様々な分野に当社の製品は使われています。このような多分野の業界に必要とされるのも、「B to B」企業ならではのことでと思います。少し目線を変えれば、「B to B」企業は調べることができます。「名前は知っているけど、何をやっているかわからない」という会社があったら、まずはインターネット等で調べてみるといいかと思っています。

「見た」と「調べた」では全く違う！  
就職情報サイトを深く読む。

## 情報収集編



「就職活動は情報戦」と言われるように、今、就職情報サイトは、就職活動を行う上で欠かせないものとなっています。ここでポイントになるのが、就職情報サイトで得た情報をどう活用するか、どこまで深く調べたり考えたりできるか。情報は「見た」と「調べた」では全く違います。

そこで県内企業情報が多数掲載されている就職情報サイトの担当者の方から情報活用のヒントをいただきました。

### 先入観に捉われず、広い視野で探そう。

(株) 広報しえん / にいがた就職応援団 学生支援パートナー 野瀬山 知巳さん  
①様々な業界を見渡す。先入観に捉われない。

まずは、視野を広く持って、世の中にはどういう種類の仕事があり、その仕事はどのような仕組みで成り立っているのかを調べてみましょう。そのときに「先入観を捨てる」ことが大切です。業界や社名からイメージする仕事がありますが、実際の仕事が先入観とぴったり一致することは、稀です。

求める人物像にも注目です。同じ業界の企業でも、求める人物像は異なるのです。

②多くの会社と「生」で触れ合う

就職情報サイトで全てを知ったつもりにならないようにしましょう。合同企業説明会や会社説明会へ足を運び、実際に企業と出会い、質問をすることが大切です。

企業の生の声を聞くこと、先輩社員から仕事のリアルな話を聞くこと、社長の話を聞き、社長の人柄や会社の将来の展望を知ること、自分自身の刺激になりますし、企業理解が非常に深まります。何より、多くの企業から「生」の話が聞けるのはこの就職活動の特権です。



### よりリアルな企業の情報を。

(株) 毎日コミュニケーションズ  
マイナビキャリアサポーター 新潟担当  
星野 佳奈美さん



皆さんは就職情報サイトに掲載されている沢山の企業から1社を選ぼうとしていませんか？でも企業側からすれば「この会社に入りたい、ここで働きたい」と言う人を採用したいと考えています。そこから言えることは、皆さんと企業の関係は1対1であること。単にA社よりB社が給料や待遇が良いとか家から近いではダメなのはもちろん、人と接する事が好きや人のために何かをしたいという漠然とした思いだけでは、その会社に対する1対1の思いが伝わりません。大切なことは、その会社で「自分は何かをしたいのか？」「どんな事ができるのか？」を自分と企業を1対1の関係で具体的にイメージすること。

そこで初めて就職情報サイトの企業情報が役に立ちます。マイナビには取材に基づいた仕事現場や先輩社員の生のリアルな情報が沢山載っていますので、自分がその会社に入ったなら何を感じ、どんな行動をするのかを具体的にイメージして、自分の感じたことを企業の方に伝えてください。わからない事があれば、合同企業説明会で「どこで調べて何を考え、何がわからないのか」を自信をもって質問しましょう。就活は受験勉強ではありません。企業情報をただ覚えるのではなく、自分だったらどうするかをその企業との1対1の関係で考えること。これがポイントです。

### 本音に触れられるのが一番のメリット。

(株) リクルート  
リクナビエリアプロデューサー  
瀬戸 大樹さん



企業研究の目的は、その会社で働く自分の姿を具体的にイメージすることで、会社について詳しくなることではありません。「どんな雰囲気職場で、どんな人たちと一緒に働くのか？」「会社での一日はどんなふうに通じていくのか？」「仕事はどんなやりがいや苦勞があるのか？」といった生の情報を集めて、自分が共感できるかどうかを考えることが何より重要です。働く人の生声や本音からこぼれるリアルな情報をぜひ就職サイトでは拾ってください。

その手段として、例えばリクナビの「人事担当者ブログ」や「先輩社員インタビュー」をチェックしてほしいです。「人事担当者ブログ」では社員の生声や人事の本音が写真付きで掲載されていますので、社員の働く様子や職場の雰囲気を覗き見ることができます。

また「先輩社員インタビュー」では2万人以上の先輩が、仕事でうれしかったエピソードや今だから話せる失敗談を紹介しています。インタビューを読むことで先輩訪問を疑似体験することができます。どちらの機能も働く人の生声・本音に触れられるのが一番のメリットですので、ぜひ活用してください！

(掲載50音順)

# 就職応援ツール 徹底活用術。



悩みながらの就活より、  
悩みを解決しながらの就活！

## 相談編



積極的に情報収集し活用することによって、情報に対する理解が深まると同時に情報収集手段がさらに広がります。多くの情報を吸収することで、今度は新たな疑問や悩みが生まれてきます。そんな時は、「にいがたUターン情報センター」「学校のキャリアセンター」「合同企業説明会の相談コーナー」など、いろんな相談窓口を有効に活用しましょう。今後の活動の修正ポイントが発見できるなどのメリットがあり、就職活動のモチベーションアップにもつながります。以下、にいがたUターン情報センターで、よく聞かれる質問をまとめてみました。

Q 新潟と首都圏の企業、両方受験しようと思っています。

A 新潟と首都圏両方で就職活動をするのは、体力的にも経済的にも負担がかかります。早めに自分の志望する業界、職種、勤務地などの方向性を定めることで、効率的に活動することができます。そのためには、自己分析・業界研究・企業研究など計画的に進めましょう。また、一般的に新潟に比べ首都圏の企業は採用スケジュールが早いと言われていますが、新潟でも首都圏並みの採用スケジュールの企業もあります。あくまでも採用スケジュールは企業によって異なりますので、事前の確認が必要です。「首都圏がダメなら新潟」これはNGです。

Q 地域貢献できる仕事がしたいです。

A どのような企業でも、企業は必ず様々な形で地域貢献しています。地域貢献の中には、例えば小学校に何かを寄付する、地域の行事と一緒に行動するなど、分かりやすいものもあります。ただ、そうした活動をしていない企業でも、その地域に存在することで、地域の活性化につながる、雇用を創出して地域住民の生活を支えるなど、色々な視点で考えるとその企業がどのような形で地域貢献しているかが見えてきます。「地域貢献したい」という気持ちは大事ですが、もう少し「地域貢献」とは何か深く考えてみる必要があります。

地域との深い関わりを持ちたい、地域とともに発展していく企業で働きたい気持ちが強ければ強いほど、地方で働く方がそうした喜びを実感できると思います。

Q 新潟なら県内大手の○○会社か、△△会社。それがダメなら東京の大手企業で就職しようと思います。

A 大手企業ならどこでも良いという典型的なパターンです。まずは、自分にはどういった仕事、業界、職種が向いているのか、どんなふうに通きたいのか、スタート地点に戻ってもう1回じっくり考えてみる必要があります。また、志望動機が曖昧なため、応募書類や面接の際にも苦戦してしまいます。企業規模や知名度ではなく、自分に合うか合わないかという視点で考えてみましょう。

### にいがたUターン情報センター

所在地：東京都渋谷区神宮前4-11-7  
表参道・新潟館ネスバス2F  
開館時間：月～土・第3日曜日 10:30～18:30  
(祝日・年末年始を除く)  
アクセス：JR山手線原宿駅より徒歩10分  
東京メトロ表参道駅A2出口より徒歩1分



好評開催中!

### U・Iターン集中相談会

新潟を知り尽くした専門スタッフがUターン就職に関する悩みや疑問にお答えします。開催日程は、新潟くらしのポータルサイト「niigET」でご確認ください。

新潟のくらしGET niigET  
niigET  
ニイ GET  
http://www.niiget.jp

### 学校のキャリアセンター

要チェック!

最も身近な情報源が、学校のキャリアセンターです。学校によって機能は様々ですが、キャリアセンター活用の最大のメリットは「その学校独自の求人がある」ことです。OB・OGの就職状況を知ることでもできますし、インターネットやガイドブックには載らない生きた情報を教えてもらえるケースもあります。

先輩からのアドバイス!

# がんばれ後輩

[ GANBARE KOUHAI ]

## 自分がその職場で働く姿を想像できるかが重要です。

### 1. Uターンする前はどちらにお住まいでしたか。

大学・大学院で6年間、その後社会人として2年間、計8年間神奈川県に住んでいました。

### 2. 新潟にUターンした理由は何ですか。

生まれ育った地元で家族と暮らしたいという思いがあったからです。一度は関東で就職しましたが、チャンスがあれば新潟に戻ってきたいと考えていました。

### 3. Uターンする際の就職活動について、活動方法や苦勞したことなどがあれば教えてください。

一度就職してからも新潟県内で勤務できる職場を探していて、また両親からも就職に関する情報を教えてもらっていました。今の職場に就職したきっかけは、ネスパスで開催された合同企業説明会です。Uターンを考えている人にとっては、新潟にいらなくても魅力ある地元企業の生の声が直接聞けるので、とても有意義なイベントだと思います。

苦勞した点については、スケジュール管理です。私は働きながら就職活動をしていたので、あまり時間をかけることができませんでした。交通費がかさんでしまう点も大変でした。

### 4. 新潟にUターンして良かったと思うことは何ですか。

家族と過ごせることと、何より食べ物がおいしいことです。実家で作っている米や、その他にも季節毎の旬な食材が豊富にあり、飽きることがありません。

また、関東圏で生活するより家賃等の費用を抑えられることも良い点だと思います。



椿 朋泰さん  
トッキ株式会社(見附市)  
長岡市(旧栃尾市)出身

### 5. 今の会社に入社した動機は。

一番の動機は事業内容に将来性を感じたからです。説明会で有機ELディスプレイ製造装置を世界で初めて開発するなどといった話を聞くうちに大きな魅力を感じるようになり、入社を決めました。

また、大学で学んだ知識を生かす事ができるのも入社を決めた理由の一つです。

### 6. 今の仕事の内容とその魅力を教えてください。

制御設計グループに所属し、有機ELディスプレイ製造装置や薄膜太陽電池製造装置などの制御設計を担当しています。いろいろな人との関わりあいの中で製造装置を作り上げ、実際に動くところを見ると大きな達成感を得ることが出来ます。

### 7. 趣味や休日の過ごし方は。

趣味はスポーツです。体を動かすことが好きで、学生時代はサッカーをやっていました。今は休日や平日の勤務終了後にフットサルやバドミントンをして汗を流しています。映画も見に行ったりしますね。

### 8. 学生へのアドバイスをお願いします。

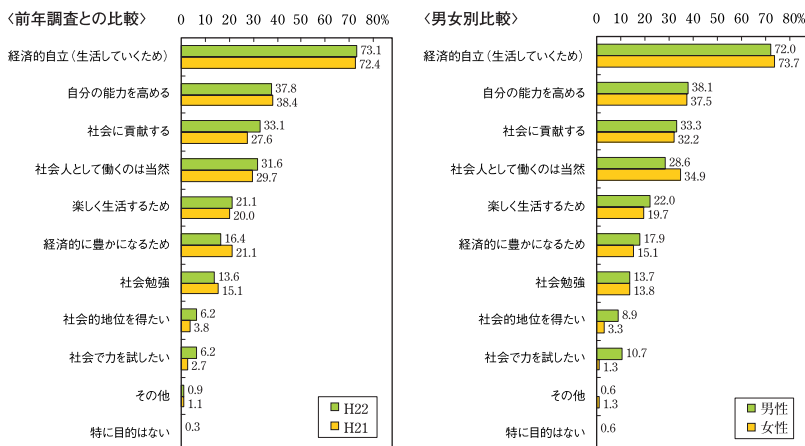
よく学び、よく遊んでください。比較的時間に余裕のある学生時代の内に様々な経験をしておくと、後々役に立つ時が来ます。

また、就職に当たっては、自分がその職場で働く姿が想像できるかどうか重要です。厳しい時代ではありますが、根気よく就職活動を続けることで、自分に合う会社が見つかると思います。

## 働くこと目的 ～フレッシュマンの意識調査～

「人はなぜ働くのか?」将来、社会に出るために考えなければならない大切なテーマです。働くこと目的を、大きく2つの視点から考えてみましょう。ひとつは「収入を得る」ということ。これから生活の経済的な足場をしっかりと定めることは何より大切なことです。もうひとつは「やりたいことの実現」のためです。実際に仕事を選ぶ上で、この二つのバランスがうまく取れていることが大切です。就職活動を始める前に、「働くこと」についてじっくり考えてみませんか。

### 新入社員が考える「働くこと目的」



グラフ / ホクゲン経済研究所  
「フレッシュマンの意識調査 新潟県内企業の新入社員向けアンケートから(平成22年調査)」

本誌に関するご意見・ご感想をお寄せください!

新潟県産業労働観光部労政雇用課雇用対策班あて E-mail [ngt050050@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt050050@pref.niigata.lg.jp)